【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立臼杵小学校

⑥ 習熟の程度に応じた指導（評価を含む）

取組の具体①

〇習熟別少人数指導
・こつこつコース（基礎を丁寧に行う）とじっくりコース（多様な考えに触れる）に分かれて授業を行う。少人数指導を十分に活かし，個に応じた指導や支援も行う。
※算数専科（臼杵市加配教員）と学級担任で分かれて授業を行う。

〇教科担任制推進教員（理科）
・教科担任制推進教員（理科）による専門的指導と指導方法の工夫改善。
・人材育成の視点から，若手教員（担任）が授業観察を行い，ベテラン教員（教科担任制推進教員）の指導ノウハウを学ぶことで自身の授業改善を図る。

取組の具体②

〇新大分スタンダードを意識した授業改善
・学習の見通しをもたせるための「めあて」の設定と学びの成果を実感できる「ふり返り」を毎時間行う。
・前時との違いと追及すべき事柄を明らかにした「課題」設定と，その「まとめ」を行う。
・生徒指導の３機能を意識した問題解決的な展開の授業実践。
・電子黒板や１人１台端末の効果的な活用。

〇校内研修を核とした授業改善
・校内研修にて，新大分スタンダードに則った授業展開などを共通理解する。また，「めあて」「課題」などの板書プレートを作成・活用した。
・研究授業および互見授業の計画的な実施（Thank you チェックシートを使った略案を作成）により，授業展開や個に応じた指導の方法などについて学び合うことで，自身の授業改善や人材育成につなげる。

臼杵市 Thank you チェックシート

6月24日（火）3限		5年1組	授業者	木村 直人・村本 るみ子
教科・領域	算 数	単元名（主題名）	合同と三角形、四角形 本時（13／14）	

単元の目標
・図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の３つの角の大きさの和が 180 度になることや四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。（知識及び技能）
・図形を構成する要素および図形相互の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、図形の性質を見いだしたりその性質を筋道を立てて考え説明したりしている。（思考力、判断力、表現力等）
・図形の合同および多角形の内角の和の性質について、数学的に表現・処理したことをふり返り、多面的に捉えたりしてよりよいものを、求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしたりしている。（学びに向かう力、人間性等）

本時のねらい
角のまわりにある複数できないところの角度の求め方について、道具等を使って三角形の図形として捉え、三角形の内角の和の性質と関連付けて表したりすることを通して、説明することができるようにする。

評価規準
角のまわりにある三角形の角度の求め方を説明している。（思考・判断・表現）

本時の流れ

1.「めあて」を確認して、「課題」をつくり、解決の見通しをもつ。
○学校の遊具写真を提示し、本時のめあてと学習課題をつかませる。また、三角形と見立てられることを捉えさせ、解決の見通しをもたせる。
めあて 遊具の三角形の角度の求め方が説明できるようになろう。
課題 とどかない場所の三角形の角度を求めるにはどうすればよいか。

2. 自力解決をする。
○ノートに三角形の角度を求めさせ、説明を書かせる。（図や式、言葉）
◎2 求めることが困難な子どもには、三角形の内角の和が180度であることがわかる図を配付し、思考できるようにする。
◎2 説明する言葉を書くことが困難な子どもには、穴埋め形式のワークシートを配付し、説明ができるようにする。

3. ペアで交流する。
○三角形の角度の求め方を説明するときに、不足する言葉はないか確認し合うためのペア交流をさせる。

4. 全体交流し、本時のまとめを共有して振り返る。
まとめ 三角形の3つの角の大きさの和が 180 度であることを使って、わかっている2つの角度を引いて求めればよい。
ふり返り （例）遊具の三角形の角度を、式や言葉を使って説明することができました。
○○さんの説明は、□□な言葉を使っていたので分かりやすかったです。

板書計画